



令和 7 年度 全国保育士会 事業報告

～子どもの現在と未来を支える保育の実現～

令和 7 年の出生数は統計開始以来過去最少の約 70 万人となるなど、急速な少子化が進む一方で、保育所・認定こども園等を利用する子ども・子育て家庭は増加しています。「はじめの 100 か月の育ちビジョン」でも示されたように、乳幼児期における身近な大人とのアタッチメント（安心）や日常的な豊かな遊びと体験（挑戦）が、子どものウェルビーイングを培う基礎となることから、保育所・認定こども園等で過ごす時間は、子どもの育ちにおいて非常に重要です。そのため、乳幼児期の育ちを支える保育士・保育教諭等は、さらなる保育の質の向上に取り組んでいくことが求められています。

本会では会員の保育の質の向上に寄与すべく、令和 7 年度も「全国保育士会倫理綱領」に基づいたさまざまな取り組みを行いました。「保育士会だより」において最新の保育のトレンド等を踏まえた内容を発信するとともに、「保育士・保育教諭の研修体系」に基づく内容で開催した研修会では、講義を踏まえて会員が日ごろの保育の振り返りができるよう、意見交換・情報交換を重点的に行いました。

一方、現在の制度的な動きに目を向けると、「こども未来戦略」に明記された「こども誰でも通園制度」や「妊娠期からの切れ目のない支援」などにおいて、保育所・認定こども園等に対し、地域のすべての子ども・子育て家庭への支援の役割が期待されています。

そうした役割の中核を担うのが主任保育士・主幹保育教諭です。本会が以前から訴えている主任保育士の専任必置化のエビデンスとすべく、主任保育士の役割や重要性などについて分析を行うための調査を令和 7 年度末から開始しました。この分析結果をもとに、専任必置化の必要性について社会に発信していく予定です。

あわせて、保育をめぐる制度施策について、保育現場の状況を伝えるべく、さまざまな機会を捉えて要望活動を実施するとともに、国の検討会や調査研究に参画し、本会がこれまで検討してきた内容や全国の会員からの意見を踏まえて、保育現場からの意見を発信しました。

とくに令和 7 年度からは国において、保育所保育指針および幼保連携型認定こども園教育・保育要領等の改定に向けた検討会が行われており、委員である北野会長からは指針・要領等の一本化も見据えて、現場の実態に即した内容となるように意見を発信しました。

このように、国の検討会等の場に参画し、意見を伝えることができるのは、全国に 18 万人の会員がいるからこそです。その会員の活動を支えるためには、都道府県・指定都市組織の役割が重要であり、組織強化の取り組みや、情報発信を充実させる必要があります。そのため、本会委員や都道府県・指定都市保育士会への支援体制の強化を目的とする方策を検討・実行するとともに、YouTube や Instagram、X 等の SNS の活用により、保育の専門性や魅力を広く発信する活動に取り組みました。

令和 7 年度、全国保育士会は今後の保育を取り巻く状況やそれに応じた組織体制のあり方等を念頭に置きながら、「子どもの現在と未来を支える保育の実現」をテーマに、次の 4 つの大きな柱に沿って事業に取り組みました。

1. 子どもが豊かに育つ質の高い保育の実現
2. 保育者の専門性が発揮できる環境構築
3. 乳幼児教育の魅力発信と理解促進
4. スカンポ募金による保育士等支援

I 重点事業

1. 社会の変化に対応した保育内容の実践

2. 保護者支援・地域支援事業に向けた取り組み

- 「社会の変化に対応した保育内容等に関する特別委員会」にて、「1.社会の変化に対応した保育内容の実践」「2.保護者支援・地域支援事業に向けた取り組み」のための検討を行った。とくに本年度は、主任保育士が専任必置化することの必要性についてエビデンスを集約するために「主任保育士・主幹保育教諭に関する調査」（実施期間：令和 8 年 2 月 12 日～4 月 24 日）の調査内容について協議を行い、調査を実施した。
- また、保護者支援・地域支援の取り組みをより効果的にすすめるために、「子どもの最善の利益を守るために保育専門職が身につけたいソーシャルワークの基本的な知識・技術等」を発行した。

3. 地方組織[※]の支援の強化と全国保育士会組織の強化と支援体制の強化

- ブロック保育士会会長会議や本会会議等において挙げられた意見を踏まえ、総務部会および常任委員会等にて、本会の役割や事業内容の振り返りと整理を行うとともに、今後必要と考えられる対応について検討を行った。
- ブロック保育士会リーダーセミナー等に本会正副会長が出席し、本会の役割を説明することで、帰属意識の向上を図った。
- 各都道府県・指定都市保育士会や委員に配付している委員マニュアルについて、全国保育士会の事業や委員の役割等のさらなる理解を促すために、専門部事業についての詳細を追記した改訂版の作成に向けて協議した。

※地方組織とは、都道府県・指定都市保育士会組織を指す

4. 保育の専門性の発信

- 保育の専門性や保育の魅力、やりがい、保育士・保育教諭等の仕事について、「#

すかんぽムービー」や SNS の活用等により広く社会へ発信・周知をした。

- 「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」改訂に関する検討会に会長が参画し、現場の専門性に即した内容となるように意見を発信した。

Ⅱ 事業報告

1. 子どもが豊かに育つ質の高い保育の実現

(1) 「全国保育士会倫理綱領」の普及と理解の促進、理念に基づいた保育の質の向上と実践強化

- 大会や各研修会にて全国保育士会倫理綱領の唱和を行い、周知を図るとともに、会員であることの帰属意識を高めた。
- 各種研修会、ブロックセミナー等の機会に全国保育士会の成り立ち等の説明と併せて、全国保育士会倫理綱領の解説を行い、会員の理解の促進をした。

(2) 「保育士・保育教諭の研修体系」に基づく研修の提供

① 「保育士・保育教諭の研修体系」に基づく研修の提供

- 研修体系を踏まえ、計画的な研修事業を企画・実施した。とくに主任保育士・主幹保育教諭等のリーダー層の参加を意識し、適切な水準のプログラムを行った。

② 研修体系の活用の推進

- 各ブロックおよび都道府県・指定都市保育士会等の組織において、体系化された研修内容が企画・実施されるよう「保育士・保育教諭の研修体系」の頒布・周知を行った。
- 本会が実施する研修会のねらいや内容が「保育士・保育教諭の研修体系」に基づいたものであることを参加者に明示・周知した。

(3) 専門性の向上と生涯研修の実施

① 2025 年度全国教育・保育研究大会の開催（東京大会／令和 7 年 11 月 20 日(木)～21 日(金)）

- 保育制度や保育を取り巻く社会の状況の変化をふまえつつ、保育研究・協議等による保育実践への理解を、全国保育協議会の会員と一体的に深めた。

期 日：令和 7 年 11 月 20 日（木）～21 日（金）

会 場：東京国際フォーラム 他

参加人数：2,088 名

内 容：全体会

■オープニングアトラクション

■開会式・式典

■基調報告：北野 久美（全国保育士会 会長）、奥村 尚三 氏（全国保育協議会 会長）

■行政説明：栗原 正明 氏（こども家庭庁 成育局 保育政策課 課長）

■記念講演：しげちゃん一座（室井 滋 氏、長谷川 義史 氏、岡 淳 氏、大友 剛 氏）



■次期開催県挨拶

■分科会：(※保育士会分科会のみ記載)

- ・第6分科会「子どもの発達と環境」／【助言者】青木 紀久代 氏 (社会福祉法人 真生会 理事長、白百合心理・社会福祉研究所 所長)
- ・第7分科会「配慮を要する子どもへの保育」／【助言者】帆足 暁子 氏 (一般社団法人 親と子どもの臨床支援センター 代表理事)
- ・第8分科会「保育のなかの食育」／【助言者】野口 孝則 氏 (上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授)
- ・第9分科会「保育所・認定こども園等における保護者支援・地域における子育て支援」／【助言者】大方 美香 氏 (大阪総合保育大学大学院 教授)
- ・第10分科会「専門性の向上をはかる取り組み」
／【助言者】椛島 香代 氏 (文京学院大学学
長補佐(教職課程改革担当) 教職課程センター
長、同大学人間学部 教授、同大学大学院 兼任
教授)
- ・フリー発表分科会「自由発表(保育実践交流)」
／発表数：16件



② 第52回全国保育士研修会の開催 (令和8年1月/新横浜プリンスホテル)

- ・ 「保育士・保育教諭等の研修体系」に基づき、子ども・子育てをとりまく社会的課題に鑑み、保育現場のニーズが高い研修内容を企画・実施した。

期 日：令和8年1月29日(木)～30日(金)

会 場：新横浜プリンスホテル

申込人数：463名

内 容：全体会

■基調報告：北野 久美 (全国保育士会 会長)

■行政説明：鎮目 健太 氏 (こども家庭庁

成育局 保育政策課 保育指導専門官)

■全体研修：「教育×エンターテインメントで広がる保育の世界

～子どもの感受性を育む～

中川 ひろたか 氏 × 鈴木 翼 氏 (SONG BOOK café)

■コース別研修：

【Aコース】「子どもを地域で育てていくための『まち保育』」

／ 三輪 律江 氏 (横浜市立大学 教授)

【Bコース】「子どもの主体性を尊重した保育実践」

／ 川田 学 氏 (北海道大学 教授)



【C コース】「乳児期の発達とかかわりの重要性」

／ 井桁 容子 氏（保育 SoW ラボ 代表）

【D コース】「保幼少の接続・連携と架け橋プログラム」

／ 北野 幸子 氏（神戸大学大学院 教授）

③ 第 37 期主任保育士・主幹保育教諭特別講座の実施

（通年／前期：全社協「新霞が関ビル」、後期：全社協「ロフォス湘南」）

- 主任保育士・主幹保育教諭および、リーダー的職員が講義の受講および実践研究をとおして、専門性や指導力を向上させる講座を実施した。
- 本講座のさらなる発展・強化を図るため、中長期的な視点をもって本講座のあり方の検討を行っている。

参加人数：36 名（修了者 35 名）

実施内容：

【前期集中講義】令和 7 年 6 月 20 日（金）～22 日（日）：東京都・新霞が関ビル

20 日（金）■基調報告 全国保育士会 会長 北野 久美

■修了生からの報告 東海市立養父保育園 主任保育士 柳澤 信旨 氏

■講義「レポート・論文の書き方」 金沢大学 教授 荒木 友希子 氏

21 日（土）■講義「子ども家庭福祉と権利擁護」 淑徳大学 名誉教授 柏女 霊峰 氏

■ゼミ演習 金沢大学 教授 荒木 友希子 氏



長野県立大学 教授 太田 光洋 氏

東京家政大学 教授 小櫃 智子 氏

文京学院大学 教授 金子 恵美 氏

函館短期大学 教授 咲間 まり子 氏

帝塚山大学 教授 清水 益治 氏

関西学院短期大学 教授 千葉 武夫 氏

明星大学 教授 星山 麻木 氏

東京家政大学 教授 堀 科 氏

22 日（日）■講義「保育専門職に求められるソーシャルワーク」

大阪公立大学 教授 伊藤 嘉余子 氏

■講義「家庭（子育て）支援」 文京学院大学 教授 金子 恵美 氏

【WEB 講義】令和 7 年 7 月 26 日（土）：Zoom によるオンライン

■講義「地域子育て支援拠点としての役割」

武庫川女子大学 教授 倉石 哲也 氏

■講義「対人援助職に求められるコミュニケーションと

リスクマネージャーとしての役割」

保育の安全研究・教育センター 心理学博士 掛札 逸美 氏

【後期集中講義】令和7年9月26日（金）～28日（日）：神奈川県・ロフォス湘南

26日（金）■講義「保育の計画」 東京家政大学 教授 小櫃 智子 氏

27日（土）■講義「障害のある子どもと保護者の支援」 明星大学 教授 星山 麻木 氏

■ゼミ演習

金沢大学 教授 荒木 友希子 氏

長野県立大学 教授 太田 光洋 氏

東京家政大学 教授 小櫃 智子 氏

文京学院大学 教授 金子 恵美 氏

函館短期大学 教授 咲間 まり子 氏

帝塚山大学 教授 清水 益治 氏

関西学院短期大学 教授 千葉 武夫 氏

明星大学 教授 星山 麻木 氏

東京家政大学 教授 堀 科 氏



28日（日）■講義「乳児保育」 東京家政大学 教授 堀 科 氏

④ 第20回「保育スーパーバイザー養成研修会」の開催（令和7年8月／東京都霞が関）

- 主任保育士・主幹保育教諭特別講座のリカレント研修であることを踏まえつつ、社会情勢を勘案し、内容を企画・実施した。令和7年8月に発行した「こどもの最善の利益を守るために保育専門職が身につけたいソーシャルワークの基本的な知識・技術等」を頒布し、監修・原稿執筆いただいた伊藤嘉余子氏（大阪公立大学教授）に解説いただいた。

期 日：令和7年8月21日（木）～8月22日（金）

参加人数：55名

会 場：全社協5階会議室

■行政説明 こども家庭庁保育政策課保育指導専門官、
成育基盤企画課教育・保育専門官

鎮目 健太 氏

■基調報告 全国保育士会 会長 北野 久美

■講義・演習Ⅰ「保育所・認定子ども園等におけるソーシャルワークと関係機関との連携」

大阪公立大学 教授 伊藤 嘉余子 氏

■講義・演習Ⅱ「保育スーパーバイザーとしての人材育成と職場づくり」

神戸大学大学院 教授 北野 幸子 氏



⑤ 都道府県・指定都市保育士会正副会長セミナーの開催（令和8年2月／東京都霞が関）

- 保育をとりまく最新の現状、課題等について、講義・グループ討議等により情報を共有するとともに、課題等への対応方策を探るプログラムを実施した。

期 日：令和8年2月25日（水）～26日（木）

会 場：全社協 5 階会議室

参加人数：71 名

内 容：■基調報告 全国保育士会 会長 北野 久美

■行政説明 こども家庭庁 成育局保育政策課、成育局成育基盤企画課

■意見交換

■対談「保育施策の動きから考える、子どもの育ちを支える保育の実現」

倉石 哲也 氏（武庫川女子大学 教授）× 北野 久美（全国保育士会 会長）

■講義「今後の保育において、保育士・保育教諭等

に求められる役割について考える」

倉石 哲也 氏（武庫川女子大学 教授）



⑥ 「保育活動専門員」認定制度による専門性向上の推進

- 全保協と連携し、保育の現場ならびに地域におけるリーダーとして活躍する人材を育成することを目的として本制度を実施した。本年度の認定者数は 77 名（内、新規 42 名(主任特別講座修了生 16 名)、更新 35 名）。
- 全保協と研修担当連絡会を実施し、社会情勢を踏まえた本制度のあり方について継続的に検討を行った。

⑦ 「保育の個別計画」の推進による保育の質の向上の取り組み

- 本会の会員ホームページにて継続的に「個別計画」の様式例の周知を行い、現場における取り組みのさらなる促進につなげた。

⑧ 自己評価の推進および第三者評価事業を活用した保育の質の向上への取り組み

- 研修会の基調報告や HP 等で、「保育所・認定こども園等における自己評価・第三者評価を活用した実践事例～子どもの豊かな育ちを保障する取り組みのすすめ～」の継続的な周知を行い、保育所・認定こども園等における取り組みの推進につなげた。
- 研修会の基調報告や HP 等で、現場の保育士・保育教諭による「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト」を用いた保育の振り返りの取り組みを促進した。
- 「保育所における自己評価ガイドライン【改訂版】」の周知に取り組むとともに、積極的な活用を促進した。

(4) 社会の変化に対応した保育内容の実践と発信

- 「社会の変化に対応した保育内容等における特別委員会」において継続的に検討を進めた。（※重点事業「社会の変化に対応した保育内容の実践と発信」に記載）

(5) 保育所・認定子ども園等による食育の推進

① 食育の意義の周知

- 「子どもの育ちを支える食」(令和元年作成)をもとに、令和5年度に作成した対象別(保育者、保護者、地域関係者向けの三種類)のパンフレット等の周知ならびに食育推進研修会での活用により学びを深めた。また、自園調理の優位性を広く社会に向け発信した。
- 構造改革特別区の公立保育所・公立認定子ども園等にて実施されている3歳未満児の給食の外部搬入について、全国の公立保育所等でも展開を可能とすることが、3月31日に閣議決定したことを受け、公立会員を有する本会は全国保育協議会と協働して、全国展開にあたっての厳格な要件を定めるよう、国への意見書を取りまとめた。今後も動向を注視しながら、子どもの健やかな成長を支える「食」を保障するために状況に応じた活動を展開していく。



② 全国保育士会食育推進ビジョンの普及

- 本会研修会や会議における唱和、研修会冊子等への掲載などにより、全国的な周知と活用を促した。また、食育推進研修会において、本ビジョンの策定経緯等の説明を行い、周知ならびに活用促進を図った。

③ 食育推進委員会および食育推進委員会運営委員会の開催

- 食育推進委員会を開催し、食育をめぐる動向やビジョン等の共有を行った。
- 食育推進研修会の企画、運営を行うとともに、子ども・子育てや食に関連する制度動向を注視し、意見書を提出するなど、状況に応じた活動につなげた。
- 食育推進委員会を開催し(7月31日、食育推進研修会1日目終了後)、食育推進委員会の目的・役割やビジョン等を共有した。また、令和7・8年度の食育推進委員会運営委員会の改選を行った。
- 第1回食育推進委員会運営委員会を開催し(7月31日、食育推進研修会研修会開始前)、食育推進委員会事業について確認した。

④ 食育推進研修会の開催(令和7年7月31日(木)~8月1日(金)/ホテルグリーンタワー幕張)

- 乳幼児の発達に即した食育や、アレルギー対応など、食育について理解を深めるとともに、職員が一体となって取り組む食育について学ぶ研修会を開催した。

参集期日：令和7年7月31日(木)~8月1日(金)

オンデマンド期日：令和7年9月1日(月)~30日(火)

参加人数：会場参加 151名、アーカイブ参加 163名

会場：ホテルグリーンタワー幕張

■行政説明「食を取り巻く国の動向」

／久保 陽子 氏

(こども家庭庁 成育局 成育基盤企画課 栄養専門官)

■講義 I 「配慮が必要な子どもに寄り添う食育」



／水野 智美 氏（筑波大学医学医療系 准教授）

■講義Ⅱ「食物アレルギーのこどもが楽しい園であるために」

／是松 聖悟 氏（埼玉医科大学総合医療センター 小児科 教授）

■講義Ⅲ「子どもの発達に応じて適切に知っておきたい口腔機能のすべて」

／権 暁成 氏（K DENTAL CLINIC 院長）

■講義Ⅳ「離乳食期の食育～保護者支援を中心にして～」

／堤 ちはる 氏（相模女子大学栄養科学部 健康栄養学科 特任教授）

⑤ 第4次食育推進基本計画への対応

- 国の食育推進評価専門委員会に参画し、2021年度から計画期間となる第4次食育推進基本計画の策定後の評価に対し、保育現場として意見を発信した。
- また、令和7年度は笠置英恵委員が参画し、第5次食育推進計画の策定に向け、保育所・認定こども園における食育の取り組みについて意見を述べるとともに、自園調理の優位性を主張した。

（6）児童虐待防止および子どもの貧困対応等への取り組み

① 児童虐待防止と対応に向けた子どもおよび保護者支援の取り組み

- HP等の周知により、「これって虐待？ 保育者向け児童虐待防止のための研修用ワークブック」を周知することにより、虐待の予防と早期発見につなげた。
- HP等の周知により、「これって虐待？ 保育者向け児童虐待防止のための研修用ワークブック」の園内研修での活用に向け、全国保育士会や都道府県・指定都市保育士会において、本ワークブックによる研修方法を広め、ワークブックの活用を促進した。

② 保育所・認定こども園における人権擁護のための取り組み

- 総会や研修会等の配付等により、令和5年度に作成したパンフレット『「子どもへの性暴力防止」の視点から考える保育の専門性』の継続的な周知・活用促進を行った。
- また、今後保育所・認定こども園等における性教育の必要性を認識し、園での取り組みを推進することを目的としたパンフレットの作成に向けて、部会による検討を行い、事例収集や執筆等、作業をすすめた。
- 研修会の基調報告やHP等の周知により、現場の保育士・保育教諭による「保育所・認定こども園等における人権擁護のためのセルフチェックリスト」を用いた保育の振り返りの取り組みを促進した。（再掲）



③ 「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」および「子ども虐待防止オレンジリボン運動」への協力

- 「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」、「子ども虐待防止オレンジリボン運動」に協力し、児童虐待防止への意識啓発につとめた。

④ 子どもの貧困（貧困等の課題を抱える家庭）等への対応

- 研修会の基調報告やHP等にて、「保育士・保育教諭として、子どもの貧困問題を考える」

(改訂版)を周知等することによって、全国保育士会委員および都道府県・指定都市保育士会、また会員の子どもの貧困に対する意識向上および取り組みの推進を図った。

(7) 配慮を要する子どもの保育と保護者支援

- 研修会等の基調報告や HP 等にて、「医療的ケアを必要とする子どもの保育実践事例集」の周知を行った。

(8) 地域の子育て支援の推進

- ① 地域での生活を支える児童福祉施設等による子ども・子育て家庭支援の推進
- ② 社会的養護との連携による取り組みに向けた検討
- ③ 地域の子ども・子育て家庭支援の推進

- こども大綱や改正児童福祉法(令和6年4月施行)等において、「妊娠期からの切れ目のない支援」や「地域の子ども・子育て家庭支援」等の充実を進めている。保育所・認定こども園等においても、地域の子ども・子育て家庭支援において発揮することのできる役割や課題等を検討すべく実施した調査結果も踏まえながら、特別委員会において「社会の変化に対応した保育内容の実践」と一体的にさらなる検討・整理を進める。(再掲)
- 地域支援の取り組みをより効果的に進めるために、「子どもの最善の利益を守るために保育専門職が身につけたいソーシャルワークの基本的な知識・技術等」パンフレットを令和7年8月に作成した。制度・保育内容研究部会の事例紹介をもとに、大阪公立大学教授の伊藤嘉余子氏にソーシャルワークの基本的な知識と技術や事例等の解説をいただいた。また、併せて第20回「保育スーパーバイザー」養成研修会においても、伊藤氏の講義にて本パンフレットの解説・周知を行った。



- ④ 「保育士がこたえる子育て Q&A」の充実と普及

- ホームページを通じて、保護者が子育てのなかで感じる不安や疑問に答えることで、家庭での子どもの豊かな育ちへとつなげるとともに、保育士・保育教諭等の専門性に対する理解をすすめた。

(9) 保育実践研究の推進、支援

- ① 改訂版「保育を高める実践研究の手引き」の活用と関係機関への発信

- 「保育を高める実践研究の手引き」をもとに、保育士が実践研究に取り組む意義等を解説することにより、各都道府県・指定都市組織における研究事業の取り組みを促進するとともに、保育士の実践研究の質の向上を図った。

- ② 「全国保育士会研究紀要」の刊行、活用の推進

- 「第35号全国保育士会研究紀要2025」を刊行するとともに、全国保育士会における論文のあり方を基盤として、より質の高い実践研究発表となるよう執筆者を支援した。

- ③ 研究奨励費助成の実施

- 2025年度全国教育・保育研究大会で発表する都道府県・指定都市組織（10組織）に対し、「研究奨励費」の助成を実施した。

④「保育研究」の推進（学会発表助成の実施）

- 自発的な実践研究を促進し、知識の研鑽や自らの保育の振り返りにつなげることを目的として、学会発表助成を実施した（助成件数：1件）。
- 自発的な実践研究のさらなる促進のために、より効果的な支援方法の検討を行った。

2. 保育者の専門性が発揮できる環境構築

（1）保育制度改革等への対応

- 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂に向けて、「こども家庭審議会幼児期までのこどもの育ち部会保育専門委員会（こども家庭庁）」に本会の北野久美会長が参画し、現場の声と課題について国へ意見を発信した。
- 「こども家庭ソーシャルワーカー調査研究（こども家庭庁）」に本会の北野久美会長が参画し、こども家庭ソーシャルワーカーの資格取得後の学びのあり方に関する調査について、保育現場の視点から意見を発信した。
- 「保育士の多様な働き方に関する調査研究（こども家庭庁）」に本会の北野久美会長が参画し、スポットワークや短時間保育士等の実態に関する調査について、保育現場の視点から意見を発信した。

（2）保育士・保育教諭の人材養成・育成、確保、定着

① 保育士・保育教諭の人材養成・育成、確保、定着の推進

- 保育士会だより No.327（7月号）にて、保育人材の確保・育成・定着に向けて、保育観を認めあう環境づくりに関する特集を掲載した。（執筆者：鈴木 健史氏（東京立正短期大学 准教授））
- 人材確保懇談会（こども家庭庁）に若盛副会長が参画し、第3回（10/29）において、保育士会が実施している人材確保や魅力発信事業等について報告した。

② 次世代への保育の仕事の理解促進

- 「保育士会だより」の連載「学ぶほど楽しさ発見！保育の世界」（神戸大学大学院 北野 幸子 教授）等によって、保育現場から保育の魅力ややりがいを発信するとともに、保育士・保育教諭の仕事について、正しく理解できるような情報提供を行った。（インナーモチベーションの向上、広く社会への発信・周知）
- 現在までに動画20本をYouTube「すかんぼチャンネル」にアップロードしている。また、総再生回数は9万回以上に達した。
- また、今後「保育士の仕事あるある」など保育に関するさまざまな情報を紹介し、保育の仕事の魅力発信を行うために、Instagramの公式アカウントを開始した。

③ 保育士資格の社会的位置付けや保育士の専門性の向上

- こども家庭庁「保育士養成課程検討会」に、本会の北野久美会長が参画し、保育士資格取

得に関する事項や、養成課程における課題等について意見を発信した。

④ 保育士・保育教諭のキャリアアップの確立

- 本会の「保育士・保育教諭が誇りとやりがいを持って働き続けられる、新たなキャリアアップの道筋について」（保育士等のキャリアアップ検討特別委員会 報告書）を踏まえて策定している「保育士・保育教諭の研修体系」にもとづく研修を推進し、保育所・認定こども園等で働く保育士・保育教諭のキャリアアップに向けた支援に取り組んだ。
- あわせて、『保育士等キャリアアップ研修ハンドブック』（全国保育士会 編／全社協）の普及促進に努めた。（令和7年度頒布数：727部、累計：41,514部販売）
- 都道府県保育士会の申請に基づき、都道府県庁に対し「処遇改善等加算Ⅱにかかる認定研修実施主体」の申請を行い、本会主催の研修の受講促進および受講者の専門性の向上を図った。（13県申請、13県認定済）

（3）組織強化の推進

① 保育士会組織の強化と支援体制の強化

- ブロック保育士会会長会議や本会会議等において挙げられた意見を踏まえ、総務部会および常任委員会等にて、本会の役割や事業内容の振り返りと整理を行うとともに、今後必要と考えられる対応について検討を行った。（再掲）
- 全国保育士会委員を主な対象とした「委員マニュアル」や、「保育士会活動のしおり」等の周知・活用促進を行うことにより、保育士会活動の充実・強化を図った。また、主任保育士・主幹保育教諭特別講座における基調報告の映像を後日、委員および組織事務局員を対象にアーカイブ配信した。

② 新規会員の獲得に向けた取り組み

- 会員対象事業の実施とともに、会員名簿の更新や「保育士会だより」等の情報発信の強化、全国保育士会 HP や X(旧 Twitter)等の SNS を通じた全国保育士会の取り組み周知とともに、各県・市組織の組織力強化に向けた支援を行った。
- 新規会員に向けたリーフレットを作成し、都道府県・指定都市保育組織事務局に頒布を行った。

③ 会員名簿更新の実施

- 会員名簿の更新を実施するとともに、引き続き、会員名簿未提出組織に対して会員名簿提出の働きかけを行う。令和5年度より実施している会員名簿により収集する情報の削減等についても継続した。
- 各都道府県・市組織に対して会員名簿の更新を依頼し、名簿にもとづき会費請求を行った。（令和7年度会員数：178,553人）

④ 永年勤続保育士等への感謝状の贈呈

- 全国保育士会感謝状の贈呈を実施するとともに、受賞者名簿の作成および配布を行った。
- 本年度の感謝状受賞者数は1,544人。

⑤ 地域子育て支援を推進する保育者の支援

- 「全国保育士会会員バッジ」の一層の普及を促進し、保育士・保育教諭に加え、栄養士、調理員等も含めたバッジの保持者が、保育をつかさどる専門職の集団であることを視覚的に社会へ周知し、会員にとって組織への帰属意識を高めるツールとして拡充を図った。
- 第一次頒布 1,011 個、第二次頒布 395 個、随時頒布 426 個の計 1,832 個の頒布を行った。

⑥ 「令和 7 年度保育士会活動のしおり」の作成

- 全国保育士会委員等に配付し、全国組織の取り組みや概要について周知を図った。

(4) ブロック、都道府県・指定都市保育士会との連携推進

① 各種助成事業の実施（ブロック会長会議・リーダーセミナー助成、組織強化費の実施）

- ブロック会長会議・リーダーセミナー助成を実施し、ブロックの保育士会活動を促進し、ブロック間の情報・課題の共有に努めた。

ブロック名	助成金額	実施内容（予定含む）
北海道・東北 ブロック	291,000 円	①北海道・東北ブロック保育士会会長会議 ／【第 1 回】令和 7 年 4 月 16 日（水） 【第 2 回】令和 7 年 7 月 23 日（水） 【第 3 回】令和 7 年 9 月 18 日（木） 【第 4 回】令和 8 年 1 月 23 日（金） ②北海道・東北ブロック保育士会リーダーセミナー ／【第 1 回】令和 7 年 4 月 16 日（金）～17 日（木） 【第 2 回】令和 8 年 1 月 23 日（金）
関東ブロック	519,000 円	①関東ブロック保育士会会長会議 ／【第 1 回】令和 7 年 7 月 3 日（木） 【第 2 回】令和 7 年 10 月 30 日（木） 【第 3 回】令和 7 年 12 月 15 日（月） 【第 4 回】令和 8 年 2 月 24 日（火） ②関東ブロック保育士会リーダーセミナー ／令和 8 年 2 月 24 日（火）
東海・北陸ブロック	253,000 円	①東海・北陸ブロック保育士会会長会議 ／【第 1 回】令和 7 年 7 月 18 日（金） 【第 2 回】令和 7 年 11 月 5 日（水） ②東海・北陸ブロック保育士会リーダーセミナー ／令和 7 年 11 月 5 日（水）
近畿ブロック	329,000 円	①近畿ブロック保育士会会長会議 ／【第 1 回】令和 7 年 4 月 14 日（月） 【第 2 回】令和 7 年 9 月 20 日（土） ②近畿ブロック保育士会リーダーセミナー ／令和 7 年 9 月 20 日（土）

ブロック名	助成金額	実施内容（予定含む）
中国ブロック	139,000 円	①中国ブロック保育士会会長会議 ／【第1回】令和7年7月28日（月） 【第2回】令和8年2月17日（火） ②中国ブロック保育士会リーダーセミナー ／令和8年2月20日（金）
四国ブロック	177,000 円	①四国ブロック保育士会会長会議 ／【第1回】令和7年7月7日（月） 【第2回】令和7年11月12日（水） ②四国ブロック保育士会リーダーセミナー ／令和7年11月12日（水）
九州ブロック	443,000 円	①九州ブロック保育士会会長会議 ／【第1回】令和7年6月5日（木） 【第2回】令和7年7月17日（木） 【第3回】令和8年1月19日（月） ②九州ブロック保育士会リーダーセミナー ／【第1回】令和7年7月17日（木） 【第2回】令和8年1月19日（月）

② ブロック保育大会への協力

- 令和7年度に開催される、各ブロック保育大会に正副会長を派遣した。

ブロック名	事業名	出席者
北海道・東北 ブロック	北海道・東北ブロック保育研究大会（岩手県） ／令和7年7月23日（水）～24日（木）	中田 実千世 副会長
関東ブロック	関東ブロック保育研究大会（相模原市） ／令和7年7月3日（木）～4日（金）	若盛 清美 副会長
東海・北陸 ブロック	東海北陸保育研究大会（岐阜県） ／令和7年7月17日（木）～18日（金）	-
近畿ブロック	近畿ブロック保育研究集会（神戸市） ／令和7年7月17日（木）～18日（金）	間所 あゆみ 副会長
中国ブロック	中国ブロック保育研究大会（広島県） ／令和7年7月29日（火）～30日（水）	北野 久美 会長
四国ブロック	四国ブロック保育研究大会（徳島県） ／令和7年7月29日（火）～30日（水）	北野 久美 会長
九州ブロック	九州保育三団体研究大会（沖縄県） ／令和7年7月17日（木）～7月18日（金）	北野 久美 会長

③ 各ブロック保育士会との意見交換の実施

- 令和7年度に開催される、各ブロック保育大会の際に、都道府県・指定都市保育士会正副会長等と意見交換を実施した。

- 7月28日(月)にて実施された四国ブロック保育士会会長等会議に北野久美会長が参画し、ブロック内での現状等について情報交換を行った。

(5) 会員および保育関係者への情報発信

① 全国保育士会ホームページの充実

- 保育の専門性や保育の魅力、やりがい、保育士・保育教諭等の仕事について、「すかんぼムービー」やSNSの活用等により広く社会へ発信・周知を行い、正しい理解や新規会員加入の促進につなげた。(再掲)
- ホームページ等による会員および保育関係者への情報提供や全国保育士会の事業、その成果、国の会議への参画状況等を掲載することで、本会の取り組みを会員・会員外へアピールした。
- 会員専用ページを充実させ、会員の帰属意識の向上につなげるとともに、会員外に対して本会活動の周知と理解促進につなげた。

② 「保育士会だより」による会員への情報提供(年6回/奇数月)

- 保育の質の向上につなげるため、最新の情報や会員が知りたい内容を提供した。
- 「保育士会だより」を一人ひとりが手にすることで、会員であることの帰属意識を高める内容を掲載した。
- なお、令和7年度より「保育士会だより」の発行方法を一部変更し、5月号を含む2号分は冊子で発行し、ほか4号はWEBのみの発行とした。

	特 集	連載1 地域のなかで子どもが健やかに育つために ～「まち保育」をめざして～	連載2 学ぶほど楽しさ発見!保育の世界
5月号(326号) 【8ページ】	離乳食の支援について 口腔機能からのアプローチ	【第1回】 「まち保育」とはなにか	【第1回】 最初から、いつまでも、楽しく学ぼう!
7月号(327号) 【8ページ】	保育観を認め合う環境づくり 子どもの最善の利益のために	【第2回】 子どもの育ちに欠かせない 「まち」と具体的な4つの ステージ	【第2回】 保育の質ってなに?
9月号(328号) 【8ページ】	職員と専門機関の連携が 支える子どもと家族の共 創ウェルビーイング	【第3回】 地域住民とのつながりを作 ろう!	【第3回】 保育の質を高めるには、ど うしたらいいの?
11月号(329号) 【8ページ】	保育現場の実践と気づき を通じて考える「こども誰 でも通園制度」とは ～制度の導入に向けて～	【第4回】 地域住民との共助力をアッ プしよう!	【第4回】 保育の質をたかめるには? つながり学びあう 研修に参加しよう
1月号(330号) 【16ページ】 ※全国保育協議会との 合併号	2025年度全国教育・保育 研究大会報告 『すべての子どもの権利 と育ちを保障していく社会 の実現をめざして』～子 どもと保護者と保育者の 現在と未来を支える～		

3月号(331号) 【8ページ】	保育現場におけるICTの活用を通じた、保育の質の向上	【第5回】 地域のなかで子どもが健やかに育つために～「まち保育」がもたらすもの～	【第5回】 保育のやりがいや楽しさを感じよう
---------------------	----------------------------	---	---------------------------

③「全国保育士会委員ニュース」の発行（随時）

- 全国保育士会委員や都道府県・指定都市保育士会事務局と本会の一体的な事業の推進につながるため、制度動向や本会活動の取り組みについて迅速に情報提供した。
- 現在までに第1号～第45号まで発行した。

④『保育の友』の編集協力

- 中田副会長が『保育の友』編集委員会に参画し、現場の保育士の立場から意見を述べ、『保育の友』の内容の充実に寄与した。
- 「ナウ・トピックス」にて全国保育士会の動向等についての情報発信を実施した。

3. 乳幼児教育の魅力発信と理解促進

(1) 保育（養護と教育）の専門性の明確化と発信の取り組み

①「命を育み、学ぶ意欲を育てます。」ポスター掲出呼びかけ

- 保育の魅力についてポスターを作成し、配付することで、保護者や地域社会に向けて発信した。
- 都道府県・指定都市保育士会事務局および委員に周知を依頼した。



② 報告書「養護と教育が一体となった保育の言語化」の活用促進

- 報告書等の活用によって、保育者自身の、保育に対する理解の深まりを促進するとともに、社会・地域からの保育に対する理解の深まりの促進につなげた。

③「806の研究から厳選!! 保育実践における研究論文集」の活用促進

- 会員の保育実践に対する理解促進と、実践研究の推進に向けた周知を行った。

(2) 子どもの育ちの連続性を確保する小学校との連携強化

- パンフレット「子どもの育ちの連続性を確保するために～保育所・認定こども園から小学校への円滑な接続をめざして」等を通じて、小学校関係者の保育に対する理解促進および小学

校との一層の連携強化に取り組んだ。

4. スカンポ募金による保育士等支援

(1) 全国保育士会被災地支援スカンポ募金の実施

- 全国保育士会被災地支援スカンポ募金により、被災地の保育士会活動を支援する「災害緊急支援金」による対応や、「全国保育士会被災地支援事業」(下記)を実施した。
 - ① 災害で失われた研修会資料の提供
 - ② 被災地における子育て支援の取り組みへの助成
 - ③ 保育者応援研修会助成(旧リフレッシュ研修開催助成)
 - ④ 研修会参加費助成
 - ⑤ ①から④以外の活動助成(スカンポ募金趣旨にそった活動等が対象)
- 本年度の被災地支援事業については石川県から1件の申請があった。



- スカンポ募金の活動や支援制度の周知・活用促進を目的に「全国保育士会被災地支援スカンポ募金チラシ」を作成した。また、都道府県・指定都市保育士会事務局および委員に周知を依頼した。

(2) 大規模自然災害発生への備え

- 大規模自然災害発生時・発生後の組織的な支援についての情報収集と共有を行った。
- 事例集「東日本大震災被災地における子どもの育ち」の周知を、全国保育士会ホームページや『保育の友』『ナウ・トピックス』等により行った。

5. 諸会議の開催

(1) 委員総会の開催（2回）

- ・第1回委員総会／令和7年6月5日（木）
 - 第1号議案：令和6年度全国保育士会事業報告（案）について
 - 第2号議案：令和6年度全国保育士会収支決算について
 - 第3号議案：全国保育士会役員改選について
- ・第2回委員総会／令和8年2月26日（木）
 - 第1号議案：全国保育士会会則等の一部改定について
 - 第2号議案：令和8年度全国保育士会事業計画（案）について
 - 第3号議案：令和8年度全国保育士会収支予算（案）について

(2) 委員連絡会議の開催

- ・委員連絡会議／令和7年11月19日（水）
 - ① 倫理綱領・食育推進ビジョン唱和
 - ② 保育をめぐる動向と全国保育士会の取り組みについて
 - ③ 令和7年度事業の状況報告等
 - ④ グループワーク・意見交換、質疑応答

(3) 事業及び会計監査の実施

- ・事業及び会計監査の実施／令和7年5月26日（月）
 - ① 令和6年4月1日～令和7年3月31日の事業及び会計の執行にかかる監査

(4) 常任委員会の開催（6回）

- ・第1回常任委員会／令和7年5月9日（金）
 - ① 令和7年度第1回委員総会の開催等について
 - ② 令和6年度事業報告（案）について
 - ③ 令和6年度収支決算および会計監査の進め方について
 - ④ 令和6年度ブロック保育士会長会議・リーダーセミナー（報告）および令和7年度ブロック保育士会長会議・リーダーセミナー（案）について
 - ⑤ 令和7年度事業の進め方および組織強化について
 - ⑥ 全国保育士会 被災地支援事業の実施について
- ・第2回常任委員会／令和7年6月24日（火）
 - ① 各事業の進め方等について
 - ② 広報部 副部長の選出について
 - ③ 70周年（令和8年）に向けて
- ・第3回常任委員会／令和7年7月25日（金）
 - ① 組織強化について（ブロック大会の報告）
 - ② 令和7年度委員連絡会議の進め方について
 - ③ 委員マニュアル（詳細版）について
 - ④ 2025年度全国教育・保育研究大会にかかる役割分担について
 - ⑤ 全国大会における旅費負担について
- ・第4回常任委員会／令和7年9月29日（月）
 - ① 「私たちは、命を育み、学ぶ意欲を育てます」ポスターについて

- ② 令和7年度委員連絡会議の進め方について
- ③ 全国保育士研修会について
- ④ 保育の魅力発信について
- ⑤ 全国保育士会「購読会員（仮）」について
- ⑥ 主任保育士・主幹保育教諭特別講座の今後の展開について
- ⑦ 令和8年度事業計画・予算の策定に向けた検討
- ⑧ 福祉ビジョン2025を踏まえた行動方針の見直し
- ・第5回常任委員会（臨時）／令和7年10月23日（木）
 - ① 主任保育士・主幹保育教諭特別講座の会場について
 - ② 「保育士会だより」の冊子発行号について
 - ③ 令和8年度事業計画・予算の策定に向けた検討
 - ④ 福祉ビジョン2025を踏まえた行動方針の見直し
- ・第6回常任委員会／令和7年12月11日（木）
 - ① 令和8年度事業計画・予算の策定に向けた検討
 - ② 福祉ビジョン2025を踏まえた行動方針の見直し
 - ③ 全国保育士会会則の変更について（購読会員の創設）
 - ④ 委員マニュアル（改訂版）について（組織強化）
 - ⑤ 70周年記念誌およびスライドショーの作成について
- ・第7回常任委員会／令和8年2月12日（木）
 - ① 福祉ビジョン2025を踏まえた行動方針の見直し
 - ② 令和7年度第2回委員総会について
 - ③ 令和7年度事業進捗状況・決算見込みについて
 - ④ 令和8年度事業計画（案）・予算（案）について
 - ⑤ 主任保育士・主幹保育教諭特別講座 今後の展開について
 - ⑥ 70周年記念誌について
- (5) 正副会長会議の開催（6回）
 - ・第1回正副会長会議／令和7年5月9日（金）
 - ① 令和7年度第1回委員総会の開催等について
 - ② 令和6年度事業報告（案）について
 - ③ 令和6年度収支決算および会計監査の進め方について
 - ④ 令和6年度ブロック保育士会長会議・リーダーセミナー（報告）および令和7年度ブロック保育士会長会議・リーダーセミナー（案）について
 - ⑤ 令和7年度事業の進め方および組織強化について
 - ⑥ 全国保育士会 被災地支援事業の実施について
 - ・第2回正副会長会議／令和7年6月20日（火）
 - ① 各事業の進め方等について
 - ② 広報部 副部長の選出について
 - ③ 特別委員会の委員長について
 - ③ 70周年（令和8年）に向けて
 - ・第3回正副会長会議／令和7年7月25日（金）
 - ① 組織強化について（ブロック大会の報告）

- ② 令和7年度委員連絡会議の進め方について
 - ③ 委員マニュアル（詳細版）について
 - ④ 2025年度全国教育・保育研究大会にかかる役割分担について
 - ⑤ 全国大会における旅費負担について
- ・第4回正副会長会議／令和7年9月19日（金）
- ① 「私たちは、命を育み、学ぶ意欲を育てます」ポスターについて
 - ② 令和7年度委員連絡会議の進め方について
 - ③ 全国保育士研修会について
 - ④ 保育の魅力発信について
 - ⑤ 全国保育士会「購読会員（仮）」について
 - ⑥ 主任保育士・主幹保育教諭特別講座の今後の展開について
 - ⑦ 令和8年度事業計画・予算の策定に向けた検討
 - ⑧ 福祉ビジョン2025を踏まえた行動方針の見直し

- ・第5回正副会長会議／令和7年12月4日（木）
- ① 令和8年度事業計画（案）について
 - ② 福祉ビジョン2025を踏まえた行動方針の見直し
 - ③ 全国保育士会会則の変更について（購読会員の創設）
 - ④ 委員マニュアル（改訂版）について（組織強化）
 - ⑤ 70周年記念誌について

- ・第6回正副会長会議／令和8年2月6日（金）
- ① 福祉ビジョン2025を踏まえた行動方針の見直し
 - ② 令和7年度第2回委員総会について
 - ③ 令和7年度事業進捗状況・決算見込みについて
 - ④ 令和8年度事業計画（案）・予算（案）について
 - ⑤ 主任保育士・主幹保育教諭特別講座 今後の展開について
 - ⑥ 70周年記念誌について

(6) 全保協・全国保育士会正副会長連絡会の開催

- ・第1回全保協・全国保育士会正副会長連絡会／令和7年5月16日（金）
- ① 令和6年度事業報告（案）について
 - ② 令和6年度収支決算について
- ・第2回全保協・全国保育士会正副会長連絡会／令和8年2月13日（金）
- ① 全国保育士会 令和7年度 事業進捗および決算見込について
 - ② 全国保育士会 令和8年度 事業計画（案）および収支決算（案）について

(7) 総務部会の開催（4回）

- ・第1回総務部会／令和7年4月30日（水）
- ① 令和7年度第1回委員総会の進め方について
 - ② 令和6年度事業報告（案）について
 - ③ 令和6年度事業および会計監査の進め方について
 - ④ 令和6年度ブロック保育士会長会議・リーダーセミナー（報告）および
令和7年度ブロック保育士会長会議・リーダーセミナー（案）について
 - ⑤ 全国保育士会 被災地支援事業の実施について

- ⑥ 全国保育士会および都道府県・指定都市組織の組織力強化について
- ・第2回総務部会／令和7年8月6日（水）
 - ① 令和7年度の事業の進め方について
 - ② 令和7年度全国保育士会感謝状贈呈者の決定について
 - ③ 令和7年度都道府県・指定都市正副会長セミナーの企画について
 - ④ 被災地支援スキャンポ募金チラシの作成について
 - ⑤ 国の第5次食育推進基本計画（令和8年度）に向けて
 - ⑥ 全国保育士会および都道府県・指定都市組織の組織力強化について
 - ⑦ 70周年事業に向けて
- ・第3回総務部会／令和7年10月21日（火）
 - ① 令和7年度都道府県・指定都市正副会長セミナーの企画について
 - ② 購読会員の創設について
 - ③ 70周年事業に向けて(編纂小委員会により決定した事項について)
 - ④ 被災地支援スキャンポ募金チラシの作成について
 - ⑤ 組織力強化について
- ・第4回総務部会／令和8年1月27日（火）
 - ① 令和7年度第2回委員総会について
 - ② 会則・規程の一部改正について（個人購読会員創設）
 - ③ 令和7年度事業進捗状況・決算見込み
 - ④ 令和8年度事業計画（案）・予算（案）
 - ⑤ 令和7年度都道府県・指定都市正副会長セミナーの進行について
 - ⑥ 全国保育士会および都道府県・指定都市組織の組織力強化への対応
- (8) 制度・保育内容研究部会の開催（3回）
 - ・第1回制度・保育内容研究部会／令和7年8月25日（月）
 - ① 令和7年度事業の進め方について
 - ② 子どもへの性暴力防止の取り組みについて
 - ③ 保育所保育指針等の改定に向けて
 - ・第2回制度・保育内容研究部会／令和7年10月6日（月）
 - ① 第2弾性教育パンフレットについて
 - ・第3回制度・保育内容研究部会／令和8年1月9日（金）
 - ① 令和7年度事業進捗状況・決算見込みについて
 - ② 令和8年度事業計画（案）・予算（案）について
 - ③ 性教育パンフレット第2弾の事例について
- (9) 研修部会の開催（4回）
 - ・第1回研修部会／令和7年8月13日（水）
 - ① 「主任保育士・主幹保育教諭特別講座」について
 - ② 「第52回全国保育士研修会」企画について
 - ③ 学会発表助成 子ども家庭福祉に係る学会への追加について
 - ・第2回研修部会／令和7年10月7日（火）
 - ① 第38期主任保育士・主幹保育教諭特別講座について
 - ② 第52回全国保育士研修会について

- ③ 第20回「保育スーパーバイザー」養成研修会 終了報告
- ・第3回研修部会／令和7年12月23日（火）
 - ① 令和7年度事業進捗と決算見込について
 - ② 令和8年度事業計画(案)と予算(案)について
 - ③ 令和7年度「第37期主任保育士・主幹保育教諭特別講座」修了式について
令和8年度「第38期主任保育士・主幹保育教諭特別講座」日程等について
令和8年度「第38期主任保育士・主幹保育教諭特別講座」受講生の募集について
 - ④ 令和8年度第21回「保育スーパーバイザー」養成研修会について
 - ⑤ 令和8年度第53回全国保育士研修会について
- ・第4回研修部会／令和8年1月29日（木）
 - ① 令和8年度第53回全国保育士研修会について
 - ② 令和7年度「学会発表助成」について
 - ③ 令和8年度「学会発表助成」要項(案)について
- (10) 広報部会の開催（3回）
 - ・第1回広報部会／令和7年8月13日（水）
 - ① 令和7年度広報部事業について
 - ② 「保育士会だより」の企画について
 - ③ 魅力発信動画について
 - ④ Instagramの運用について
 - ・第2回広報部会／令和7年9月12日（金）
 - ① 「私たちは、命を育み、学ぶ意欲を育てます」ポスター写真について
 - ② 「保育士会だより」大会特集号について
 - ③ Instagram動画・写真および事例の提供の担当について
 - ④ 「保育士会だより」の企画について
 - ・第3回広報部会／令和7年12月23日（火）
 - ① 令和7年度広報部所管の事業進捗状況・決算見込み
 - ② 令和8年度広報部所管の事業計画（案）・予算（案）
 - ③ 「保育士会だより」の企画について
- (11) 全国教育・保育研究大会運営委員会の開催（4回）
 - ・第1回大会運営委員会／令和7年5月16日（木）
 - ① 2025年度全国教育・保育研究大会の開催に向けて
 - ② 研究大会開催に向けた確認事項について
 - ・第2回大会運営委員会／令和7年7月1日（火）
 - ① 2025年度全国教育・保育研究大会（東京大会）について
 - ・第3回大会運営委員会／令和7年8月8日（金）
 - ① これまでの協議・決定事項について
 - ② 2025年度全国教育・保育研究大会（東京大会）について
 - ③ 記念講演等に係る開催地との費用分担の整理について
 - ④ 2026年度全国教育・保育研究大会（石川大会）について
 - ・第4回大会運営委員会／令和7年9月26日（金）
 - ① 大会運営における協議・決定事項について

- ② 2025 年度全国教育・保育研究大会（東京大会）について
- ③ 2026 年度全国教育・保育研究大会（石川大会）について
- ・第 5 回大会運営委員会／令和 7 年 11 月 19 日（金）
 - ① 2025 年度全国教育・保育研究大会（東京大会）について
- ・第 6 回大会運営委員会／令和 7 年 12 月 12 日（金）
 - ① 2025 年度全国教育・保育研究大会（東京大会）の振り返りについて
 - ② 保育従事者に対する「こども家庭庁政策担当大臣感謝状（仮称）」の贈呈について
 - ③ 2026 年度全国教育・保育研究大会（石川大会）について
 - ④ 次年度以降の大会運営に係る確認事項について
- ・第 7 回大会運営委員会／令和 8 年 2 月 13 日（金）
 - ① 大会運営における協議・決定事項について
 - ② 2025 年度全国教育・保育研究大会（東京大会）について
 - ③ 2026 年度全国教育・保育研究大会（石川大会）について
- (12) 研究紀要委員会の開催
 - ・第 1 回研究紀要委員会／令和 7 年 9 月 1 日（月）
 - ① 第 35 号研究紀要 2025（執筆）の進捗状況と振り返りについて
 - ② 2025 年度全国教育・保育研究大会分科会運営等について
- (13) 全保協・全国保育士会研修担当連絡会の開催
 - ・令和 7 年度研修担当連絡会／令和 8 年 3 月 23 日（月）※書面開催
 - ① 令和 7 年度研修事業の報告、令和 8 年度研修事業の計画について
 - ② 「保育活動専門員」認定制度について
- (14) 全保協・全国保育士会合同予算対策委員会の開催
- (15) その他必要な会議の開催
 - ・第 1 回社会の変化に対応した保育内容等に関する特別委員会（第 13 回）／令和 7 年 9 月 18 日（木）
 - ① 令和 7 年度主任保育士に関する調査項目について
 - ・第 1 回食育推進委員会／令和 7 年 7 月 31 日（木）
 - ① 食育推進委員会の目的・役割等について
 - ② 令和 6 年度 食育推進委員会 事業報告・決算について
 - ③ 令和 7 年度 食育推進委員会 事業計画・予算について
 - ④ 食育推進委員会 運営委員の改選について
 - ・第 1 回食育推進委員会運営委員会／令和 7 年 7 月 31 日（木）
 - ① 令和 6 年度 食育推進委員会事業報告、決算について
 - ② 令和 7 年度 食育推進委員会事業計画、予算について
 - ③ 令和 7 年度 食育推進研修会の進め方について
 - ④ 令和 7 年・8 年度食育推進委員会運営委員会委員の改選について
 - ・第 2 回食育推進委員会運営委員会／令和 7 年 12 月 17 日（水）
 - ① 令和 7 年度 食育推進委員会関係事業進捗状況・決算見込みについて
 - ② 令和 8 年度 食育推進委員会関係事業計画(案)・予算(案)について
 - ③ 令和 8 年度 食育推進研修会企画について
 - ・第 1 回 70 周年記念 10 年小史編纂小委員会／令和 7 年 10 月 21 日（火）
 - ① 70 周年記念 10 年小史の企画・構成について

・第2回70周年記念10年小史編纂小委員会／令和8年1月27日（火）

① 70周年記念10年小史の内容・台割について

6. 関係団体との連携推進

(1) 全社協との連携促進

- ① 全国社会福祉協議会評議員会……北野久美会長
- ② 社会福祉施設協議会連絡会……北野久美会長
- ③ 社会福祉施設協議会連絡会 調査研究部……若盛清美副会長
- ④ 児童福祉関係種別協議会会長会議……北野久美会長
- ⑤ 政策委員会……若盛清美副会長
- ⑥ 福祉施設長専門講座運営委員会……間所あゆみ副会長
- ⑦ 国際社会福祉基金委員会……若盛清美副会長
- ⑧ 「保育の友」編集員会……中田実千世副会長
- ⑨ キャリアパス対応生涯研修課程運営委員会……間所あゆみ副会長

(2) 全保協との連携促進

- ① 全保協・全国保育士会正副会長連絡会議（再掲）
- ② 全保協・全国保育士会研修担当連絡会議（再掲）
- ③ 全保協・全国保育士会合同予算対策委員会（再掲）
- ④ 教育・保育施設長ステージアップ研修運営委員会……中田実千世副会長
- ⑤ 保育施策検討特別委員会……北野久美会長

(3) 全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会との連携促進

- ① 児童福祉関係種別協議会会長会議……北野久美会長（再掲）

(4) 福利厚生センターへの協力……北野久美会長

(5) 各種専門職団体等との連携促進

- ① 全国保育士養成協議会……北野久美会長

(6) アジア児童福祉施設等への支援

- ① 国際社会福祉基金委員会……若盛清美副会長（再掲）

(7) 健やか親子21推進協議会への参画

(8) 国等の会議・検討会への参画

- ① こども家庭庁「こども家庭審議会 子ども・子育て支援等分科会」
……………北野久美会長(全保協 副会長)
- ② こども家庭庁「こども家庭審議会 幼児期までの子どもの育ち部会 保育専門委員会」
……………北野久美会長（あけぼの愛育保育園園長）
- ③ こども家庭庁「こども家庭ソーシャルワーカー認定資格創設による効果の把握方法及び資格取得者の継続的な学びの場の在り方の検討に関する調査研究」……………北野久美会長
- ④ こども家庭庁「こども家庭科学研究 乳幼児健診の研究班」……………北野久美会長
- ⑤ こども家庭庁「保育士の多様な働き方に関する調査研究」……………北野久美会長
- ⑥ こども家庭庁「保育士養成課程検討会」……………北野久美会長
- ⑦ 農林水産省「食育推進評価専門委員会」への参画……………笠置英恵委員（再掲）